



速報新聞

キマグレ

発行所

彦根東高等学校

新聞部

彦根市金亀町4番7号

11名の教育実習生

来られる



▲後列左から鎌田先生、北村先生、東野先生、山田先生、武田先生、澤先生
前列左から森田先生、富江先生、八上先生、寺嶋先生、藤井先生

今年も教育実習生として11名の先生方が来られ、教育実習が行われている。先生方を紹介する。

森田陽祐先生 鎌田涼一郎先生

生物科を担当している森田陽祐先生は本校ご出身で、現在は東京学芸大学に通われている。教員を目指した理由について「中高生時代の友達に勉強を教えるのがわかりやすいと言われたことがきっかけとなった」と明かされた。意気込みは「最後に生徒たちに良い先生だったな、と思われるようにしたい」と話された。

数学科を担当されている鎌田涼一郎先生。本校ご出身の鎌田先生は高校時代を「野球と勉強に一生懸命だった」と振り返られた。鎌田先生は教師を目指した理由について「野球部の監督になって東高に恩返しをしたいから」と話された。「勉強はしんどいが熱くなれるのは今しかない」と本校生にエールを送られた。

藤井秀先生 北村颯先生

数学科を担当されている藤井秀先生。高校時代は野球部に所属されていて「顧問だった村中先生の影響で教師を志した。親に夢を聞かれても、真っ先に教師が出てきた」と話された。そして「先生に代わって授業をしているので、できるだけ先生に劣らない授業ができるように頑張りたい」と意気込まれた。

物理科を担当されている北村颯先生。本校ご出身で陸上部に所属されていた。先生は高校時代の思い出を「部活と勉強の両立でいっぱいだった」と振り返られた。教師を目指した理由について「両親が教師で小さい頃から興味があった。高校生の頃の先生を尊敬し、あこがれていた」と明かされた。

寺嶋伊武樹先生 武田圭太先生

生物科を担当されている寺嶋伊武樹先生。寺嶋先生は高校時代の思い出を「東鬼祭が楽しかった。特に2年生のソーランや3年生の劇を頑張った」と振り返られた。寺嶋先生は教師を志したきっかけを「社会に出たら人に教えるということはあると思う。教えるという学問を学びたいと思ったから」と話された。

保健体育科を担当されている武田圭太先生。大阪教育大学に通われている。高校時代について「多忙だったが充実して楽しかった」と振り返られた。先生を目指したきっかけについて「高校で自分が一番成長できたこと」だと述べられ、教育実習について「多くものを吸収できるように頑張りたい」と意気込まれた。

山田健人先生 東野慧先生

理科を担当されている山田健人先生は本校ご出身で、高校時代の思い出を「東鬼祭で団長をやって体育祭で優勝したことが一番の思い出」と話された。山田先生は「実習生にとっては練習だが、生徒のみんなにとっては1回しかない授業なのでしっかりと準備してわかりやすい授業をした」と意気込まれた。

国語科を担当されている東野慧先生。本校ご出身で当時の思い出を「学生時代は勉強と部活が大半を占めていた。勉強で自分を高めることができたからこそ今の自分がある」と振り返られた。生徒には「勉強は自分を縛るものではなく自分の世界を広げるものだ」と考えれば高校生活が楽しくなる」とエールを送られた。

八上沙知菜先生

国語科を担当されている八上沙知菜先生。高校時代の思い出を「3年生の東鬼祭で団長の脚本をしたときにもめい思い出になった」と振り返られた。また今回の教育実習については「自分で授業をするのは緊張するが楽しい。早くみんなと仲良くなりたい」と意気込まれた。

澤友哉先生

保健体育科を担当されている澤友哉先生。現在は帝京大学に通われている。教師を目指したきっかけを「高校時代の部活の顧問の先生に憧れ、その先生のように人を導けるような人になりたいと思ったから」と話された。先生は先輩に向けて「後悔しないようにしっかりと勉強してください」とエールを送られた。

富江知葉先生

情報科を担当されている富江知葉先生。高校時代は新聞部に所属され、副部長をされていたそう。富江先生は教師を目指されたきっかけを「教壇に立つことで学校と関わられるのがおもしろいと思った」と話された。富江先生は「先生との接し方を学んで良い先生になりたいと思う」と意気込まれた。

